

全国学力・学習状況調査

平成30年11月12日

～本校の概要～

札幌市立藤野小学校

時下、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今年度4月に6学年児童を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、文部科学省より報告がありましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。

【国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
・全国平均を下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができる。
- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えることができる。
- 目的に応じて必要な情報を捉えることができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。
- 他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉えることができる。
- 伝記を読んで、心に残ったことについて自分の考えをまとめることができる。

- 相手や目的、場面、状況に応じて言葉を置き換えたり内容や順序を考えて説明したりする指導の充実。
- 読者に期待をもって読み勧めてもらえるような展開にするために、構成を工夫して書く指導の充実。
- 目的を明確にし、調べる内容を具体的にしながら読む指導の充実。
- 同じ音や同じ部位をもつ漢字との違いや文脈の中での使い分けに着目する指導の充実。
- 話し合い活動の場を多く経験し、話し合い活動を振り返る指導の充実。
- 構成を工夫したり、他のものと比較して適切な内容を取り上げて詳しく書いたりする指導の充実。
- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にししながら読む指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「数と計算」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「図形」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「数と計算」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。
- 「図形」の平均正答率
・全国平均に比べ、ほぼ同程度である。
- 「数量関係」の平均正答率
・全国平均に比べ、下回っている。

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。
- 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。
- 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる。
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる。

- 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる。
- 示された考え方を解釈し、その結果を表に整理することで条件に合う時間を判断することができる。
- 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。

- 問題場面を的確に捉え、数量の関係を数直線に表すことができるようにする指導の充実。
- 分度器を用いて 180° よりも大きい角の大きさを測定する指導の充実。
- 空間の中にあるものの位置を、ある点を基にして、横、縦、高さの三つの要素を用いて正しく表す指導の充実。
- 一方の数量が増加するときの他方の数量の増減の様子を視覚的に捉え、二つの変化する数量の間にある関係を明確にする指導の充実。

- 示された情報を解釈し、数量の關係に着目して、筋道を立てて考え、数理的に処理する指導の充実。
- 日常生活の問題の解決のために、情報を収集し、それらを表に整理して条件に合う事柄について適切に判断する指導の充実。
- 目的に応じてグラフを作り複数のグラフを関連付けて考察することができるようにする指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題

- 「物質」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「生命」の平均正答率
 - ・全国平均と比べ、上回っている。
- 「地球」の平均正答率
 - ・全国平均と比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題

- 「物質」の平均正答率
 - ・全国平均と比べ、下回っている。
- 「エネルギー」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「生命」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「地球」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、下回っている。

●ろ過の適切な操作方法を身に付けている。

●堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

●より妥当な考えをつくりだすため、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。

●電流の流れ方について、予想が確かめられる場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

●安全に留意し、生物を愛護する態度をもって野鳥のひなを観察する方法を構想できる。

●より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら分析して考察できる。

○器具の操作の手順の理解や器具を使用する目的や操作の意味を捉える指導の充実。

○実際の自然の事物・現象に適用して場面を設定し、言葉の意味を的確に捉えることができるようにする指導の充実。

○自分や他者の予想に基づいた実験結果の見通しを行い複数の実験結果などから多面的に分析し、考察する指導の充実。

○自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、実験を行う前に実験結果を見通す指導の充実。

○生物に関わる実際の観察場面を保障し、安全への配慮や生物への影響について考える指導の充実。

○複数の情報を収集して児童同士が共有し、それを関連づけたことの話し合いを重視した活動の充実。

改善の方向につきましては、毎日の学習での活動を工夫しながら理解を深め、学習内容が身に付くような指導を継続してまいります。宿題および家庭学習など、ご家庭との連携も大切であると考えますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。